

三中だより

令和7年度第11号

令和8年1月16日(金)

大田区立大森第三中学校

校長 笛木 啓 介

大田区中央4-12-8

新年あけましておめでとうございます。令和8年がスタートしました。地域や保護者のみなさまにはそれぞれに新年を迎えられましたことに、心よりお慶び申し上げます。今年も、大森第三中学校の教育活動にご理解とご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

年の初め、暦の上では1年間の始まりですが、学校生活は4月から始まる年度で進んでいますので、この三学期は、1年間のまとめの教育活動となります。生徒・教職員ともに、新年を迎えた新鮮な気持ちと、この1年間のまとめをしっかりと発揮しようという期待感に包まれ、学校生活に取り組み始めました。

さて、本年の十二支は午です。馬には全力で駆けていく前進のイメージがあります。人を乗せ目的地にむかって進んでいく様子、さらにものすごい速さで疾走するさまなど、躍動感のある図がいくつも思い浮かびます。馬偏の漢字で、「駆ける」は、馬が疾走する様子をイメージします。そんな彼らの疾走の目的は、何のため、どこにむかって走っていくのでしょうか。多くの場面では、彼らは、一つの役割を担って疾走しています。それは届ける相手にむけての疾走です。今でこそ、さまざまな移動手段がありますが、早いスピードでつながるものという、昔は馬が第一線でした。そんな彼らは、多くの品物、人、情報を相手先に届けていました。馬は届けてほしいモノを相手につなぐ役割を果たしていたのです。

馬が運んだのはモノだけではありません。「い

ざ鎌倉へ」という言葉は、鎌倉時代に諸国の武士が鎌倉で何かあったら馳せ参じるということから、何かことが起きたら駆けつけ対応するという心構えのことを表す慣用句となって残っています。御家人が鎌倉に馳せ参じるの「馳せる」という言葉からは、実際に駆けつけるだけではなく、相手やその場面に対して気持ちや考えをイメージする、自分の気持ちを相手のところに一気に飛ばすといった意味で使われています。馬に関わる「駆ける」も「馳せる」のいずれも、届けたい相手があり、その相手とつながることを意味している漢字です。

今でこそ、遠い相手とも自由自在につながる事が可能な世の中ですが、その当時は駆けつけ、または駆けつけることができずとも思いを馳せることで、相手とつながろうと考えていたのでしょう。そうした真剣な心が、相手と伝わることの価値を尊び、よりいっそう相手へのリスペクトを高めたのではないのでしょうか。そう考えると、コミュニケーションの大切さと貴重さを改めて感じます。午年のスタートに、自己の発信の必要性和相手との関係性について改めて考え、そしてさらに充実した人間関係を形成できる1年としていけるとよいと考えます。それは、めぐりめぐって自分自身のことをより豊かにすることにもつながってきます。学校は、人間関係を学ぶ場です。生徒一人ひとりが互いを尊重しあい、つながることで、励ましあい自己の力を高めていけるよう、教育活動を進めてまいります。今年1年どうぞよろしくお願いいたします。

スクールカウンセラー
出勤予定日

※大森三中 相談室直通電話
(3773) 7831

	1/16(金)、1/19(月)、1/26(月)
	1/13(火)、1/20(火)、1/27(火)
	1/14(水)、1/21(木)、1/28(水)

1月の行事予定

31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木
土曜学習サークル⑤	福祉体験⑤(1)	席書会 13:30 於 池上会館	地域連携支援委員会	都立高校推薦入試(3)	都立高校推薦入試(3)			漢字検定 16:00	私立高校推薦入試(3)	小中一貫教育の日 オーケストラ鑑賞教室(2)午前	教育委員会指導訪問 ①③④⑤⑥	生徒会朝礼		ものづくりフォーラム 於大森スポーツセンター	避難訓練 地震対応 英語検定 16:00	交通安全教室②	中央委員会 16:00	専門委員会 15:00	成人の日			午前授業 給食なし	始業式 安全指導 部活動は 14:00	冬季休業日(終)				学校閉鎖期間(1月3日迄)		元旦

2年生職場体験報告会を行いました

10月1日(水)～3日(金)に、2年生は職場体験を行いました。近隣の事業所での職場体験、社会とのつながりを学ぶ貴重な機会となりました。その後、事後学習として12月12日(金)には、職場体験報告会を行いました。事業所ごとにプレゼンテーションを作り、それぞれのグループが工夫して発表しました。今回も3日間お世話になった事業所の方や保護者の方もご来校いただき、生徒たちの発表を参観していただき、職場体験での交流をもとに励ましのお声をかけていただいたりと、生徒たちも自分の進路について考えるきっかけとなりました。ありがとうございました。今回の職場体験、事前学習から事後までの長期の取り組みでしたが、その中で学んだことを、生徒たちが自分たちの将来を拓くことにつなげていけるよう、今回の体験活動の学びを活かして行ってほしいと思います。

なおその後、職場体験の事後アンケートを実施しています。そこで、今回の職場体験の学習を振り返り、生徒たちが思ったことを書いてもらいましたので、紹介いたします。

- ・今回の職場体験では、将来のことを考えるきっかけになった。進路関係について積極的に考えるようになりました。
- ・将来への視野が広がりました
- ・今回の職場体験で、今までうまくイメージできなかった将来のことについて少しわかるような気がしたし、この職場体験を経てもっと将来についても考えたり調べるきっかけにもなったのでこれからも時間が許す限りに調べようと思いました。
- ・この仕事は自分が思っている以上にずっと立っていなくちゃいけなくて足がつかれた。でもお客様にありがとうと笑顔で言ってもらえて幸せになってとってもいい仕事だなと思った。将来もこんな職業につきたいと思う!!
- ・職場体験を通して、働くことの大変さを実感した。親には自分たちのためにも、こんなに大変なことを毎日してもらって、感謝しかないし、感謝しなきゃなと思いました。



- ・私は小学校に行きました。今までは、生徒からの視点でしか先生方を見ていませんでしたが、職場体験を通して先生というのはこんなに大変なのかと知りました。ただ、大変な分、やりがいも感じられ、とても有意義な体験になりました。
- ・小さい頃通っていた場所だったから知っている人がたくさんいて安心した。子供と関わることが大好きだから自分の将来になりたい職業とはまた違うけど新たな道ができたなと思った
- ・仕事がとても大変だということを改めて学ぶことができた、貴重な体験だった。自分のこれからの進路にもつなげていきたい。
- ・今回の職場体験はいつも働いている人への感謝やこれから自分の将来を考えるきっかけとなりとても有意義なものになったと思いました

今回の職場体験では、自分の将来について考える機会となりました。感想でも自己の将来について考えるきっかけとなったという回答も多くみられます。また、アンケートでの「職場体験を終えて、自分の進路や将来の職業について考えましたか。」については、「いろいろ考えた」や「少し考えた」を合わせた肯定的回答が、86.1%となりました。もう少しで3年生に進級する自己の進路の取り組みも近づきつつあり、それに伴って遠い将来についても考え出す時期です。こうした気持ちだが、高校生活をどう過ごすか、その先をどう考えるかということにつながってきます。また、「職場体験を終えて、これからの中学校生活を頑張ろうと思いましたか。」についても、94.2%の生徒が肯定的回答をしています。進路を切り拓くためには、今の学校生活を大切にすることが重要です。今回の体験活動が、そうした日常の大切さに気づく機会となったことはとても有意義でした。ぜひ、これからの学校生活をしっかりと取り組んで、来年の最上級生としての学校生活の取り組みにつながることを期待しています。

ものづくり教育学習フォーラム

第23回ものづくり教育学習フォーラムが、令和8年1月17日(土)に、本年度は大森スポーツセンターで行われます。本校でも展示部門に、技術家庭科から次の生徒作品を出品いたしますので、紹介します。

《技術科》

- | | |
|----|------|
| 1年 | 木工作品 |
| 1年 | 木工作品 |
| 1年 | 木工作品 |

《家庭科》

- | | |
|----|--------------|
| 2年 | 手縫いのタブレットケース |
| 3年 | ブルーベリー色のハンカチ |
| 3年 | 玉ねぎの皮色のハンカチ |
- 素晴らしい作品をありがとうございます